



# みせん

瀬戸内海国立公園  
宮島地区パーク  
ボランティアの会

第84号

発行日  
令和3年6月1日

## ◇ 目 次 ◇

- |                                  |   |
|----------------------------------|---|
| P-2 宮島地区パークボランティアの会定期総会<br>部会打合せ | P-9 宮島学園卒業記念植樹作業協力                      |
| P-4 永瀬自然保護官着任挨拶                  | P-11 鷹ノ巣高砲台跡地清掃・整備作業                    |
| P-4 新入会員の紹介                      | P-13 自主観察会(1)、小なきり海岸清掃                  |
| P-6 新幹事より一言                      | P-15 投稿記事① マダニ体験記<br>投稿記事② 弥山・駒ヶ林清掃なし登山 |
| P-7 コバンモチ樹木ネット保全確認作業             | P-18 編集後記                               |

## 2021年総会での集合写真



新築の etto 宮島交流館（宮島まちづくり交流センター）で「大しゃもじ」を  
バックに記念撮影

( 写真 : 河野 )

## 令和3年度

# 宮島地区パークボランティアの会定期総会・部会打合せ

日 時 令和3年4月10日（土）

総 会 9:30～11:15

部会打合せ 11:30～12:00

場 所 etto 宮島交流館 2F ホール  
(宮島まちづくり交流センター)

参加者：麻生 今田 岩崎 大西 小川 奥田  
恩田 金山 北野 五石 河野 小林(覗)  
小林(み) 佐渡 佐藤 島 山本(加) 末原  
兎谷 中道 二神 穂井田 増田 幸田 松尾  
松田 村上(光) 元広 森 山本(昌) 横路  
上杉(裕) 上杉(幸) 種本 長村 福岡  
村上(慎) 森脇 吉賀 以上 39名  
環境省：山崎自然保護官 永瀬自然保護官  
大高下 AR

4月4日にオープンしたばかりの、etto 宮島交流館2階のホールで、総会を開催しました。

昨年度前半は、新型コロナ感染症予防のため活動がなかなか出来ず、久しぶりに会う会員も多く、懐かしい声が交わされていました。



### 1. 開会（司会 岩崎副会長）

冒頭、亡くなられた田内会員の冥福を祈り、黙祷。 続いて、3年ぶりの新規会員9人（出席7人）をお迎えしましたので、全員で自己紹介と今年の抱負を述べました。

### 2. 環境省広島事務所ごあいさつ

山崎自然保護官

宮島地区パークボランティア活動が始まって21年目。昨年はコロナで活動が制約されました。大久野島や山口県大島など中国地方の自然が注目されました。新人9人を迎えられ、今年も活動を続けてください。



### 永瀬自然保護官

この4月に九州（熊本県）から転任。専門は希少や外来などの野生生物です。宮島は初めて来ましたが、どうぞよろしくお願いします。

### 大高下 AR(アクティブレンジャー)

育休からも復帰し、12年目になります。コロナの中、やはり野外活動は必要と感じました。一緒に楽しくやりましょう。

### 3. 末原会長ごあいさつ

- コロナ対応で昨年は総会が開催できず、2年ぶりの総会開催になりました。また活動も昨年前半の半年はできませんでした。

- このetto 宮島交流館の場所は、もと宮島町役場があった場所で、ここで再び活動することができ、うれしく思います。

- 会員動静についてですが、23番田内会員が2月にご逝去されました。また12番黒木、22番田中、27番平田、39番山本章伸の各会員が退会されました。

またおめでたいこととして、山本会員（旧姓嶋谷）が結婚されました。大高下 AR もご出産され育休から復職されました。

・この会の活動について、ボランティアですので、気軽に、無理なく、都合の合うときに参加してください。

・また、この会は、発足し 20 周年を過ぎましたが、その間、無事故・無違反であることが誇りです。今後とも何より安全に活動を続けてください。

・コロナ禍で活動が制約されますが、また一年間一緒に活動をしましょう。

・その他、情報提供ですが、話題になっている宮島訪問税が可決され、1回 100 円、頻繁に来る人は年間 500 円も可能というしくみになったが、実施時期は決まっていません。また、エコツーリズムの情報も入っているが、この会とどうかかわるかも、まだ未定です。



#### 4. 出席者、総会成立確認 10:20～

出席者 37 名、委任状 6 名、合計 43 名で、全会員 46 名の半数以上に達し、総会成立。

#### 5. 議事（議長 末原会長）

次の 4 議案について、会長、各部会長、会計、監査員から説明・報告があり、意義なく承認されました。

議案 1 令和 2 年度活動報告

議案 2 ノ 決算及び監査報告

議案 3 令和 3 年度活動計画（案）

議案 4 ノ 予算（案）

#### 6. その他

コロナ禍での公募観察会参加者数について質問があり、会長から「予定として 30 人を考えている」と回答がありました。今年の活動も、コロナの状況を見ながら、感染対策には十分に留意し、臨機応変に対応する必要が続くと思われます。

#### 7. 写真撮影 11:15～

etto 宮島交流館の正面玄関「大しゃもじ」の前で、全員の集合写真を撮りました。

また向きを変え五重塔を背景に、役員の集合写真も撮りました。

#### 8. 部会打合せ 11:30～12:00



環境整備部会



観察部会



広報部会

#### 9. 終了 ～12:00

#### 10. 感想

・こうして皆で集まることができ、とてもうれしく思いました。また皆さんの活動報告を聞き、改めて多くの活動をされていることを知り、継続の大切さを感じました。

・新人さん 9 人を迎える、3 年前に入った私も先輩になりました！ ちゃんと活動せねばと

## 新入会員の紹介

反省。また、私が所属する広報部会は、人数が少な目で、新しい方大募集中です。写真の好きな方など、ぜひ広報部会へもご参加ください！

・また、会場となった etto 宮島交流館は、木材を多用し、とても素敵な建物ができていました。3階の展望室は、五重塔や千畳閣が正面に見えるビューポイント。また350人が入るホールなど部屋も7室。住民利用のほか、観光振興などにも使えるとのこと。ここを利用して、これまで出来なかつたイベントもできるようになり、宮島の自然や歴史への理解が進むに違いないと、頼もしく思いました。

( 文：二神 写真：河野 麻生 )

### 永瀬自然保護官着任挨拶

出身地：千葉県習志野市

経歴：学生時代は企業の環境取り組みや環境教育をテーマに研究をしていました。その後平成26年4月入省。ウトロ自然保護官事務所（斜里町）→本省野生生物課→えびの管理官事務所（えびの市）→九州地方環境事務所を経て令和3年4月1日より現職。



趣味：キャンプ。スキー。レザークラフト。ひとこと：初めまして、4月に赴任しました永瀬と申します。前任地は九州地方環境事務所の野生生物課で、外来生物対策（ツマアカスズメバチ・クリハラリス等）と希少種保護（ハナシノブ・ハカタスジシマドジョウ等）を担当していました。久しぶりに国立公園の担当となりました。先日、管内の状況を把握すべく宮島を回っていたところ、波間に三頭ほどのスナメリが遊泳しているのが見えて、宮島の人の営みと自然が調和した風景の中で勝手に自分が歓迎されているような気分になりました。先日の総会では、宮島地区パークボランティアのみなさまの積極的な活動とやる気を感じて、今後一緒に活動をしていくことが楽しみになりました。どうぞよろしくお願ひいたします。

下記について答えていただきました。

- ① 現在住んでいる所、血液型
- ② 出身地、今までに長く住んだ所
- ③ PVに応募した動機
- ④ 他にボランティア活動していますか？
- ⑤ 趣味、特技など
- ⑥ 今までに登った一番高い山は？
- ⑦ 最近何か感動したことがありますか？
- ⑧ 最近憤慨していることがありますれば
- ⑨ 好きな言葉
- ⑩ 他自己 PR などなんでも

### 会員 No43 上杉裕俊 環境整備部会

- ① 広島市南区 B型
- ② 広島県広島市
- ③ リタイア後の生活にめりはりをつける。
- ④ していません。
- ⑤ 機械いじり、プラ模型など。
- ⑥ 九重山
- ⑦ 特になし。
- ⑧ 特になし。
- ⑨ 中庸
- ⑩ サラリーマン時代は工場・発電所の設備機器のソフトウェアを作つておりました。10代のころからキャンプやハイキングが好きで、20代～30代はスキーバダイビングにはまり暇さえあれば海に行っていましたが忙しさにかまけて何もしなくなり、すっかりインドア派に。時間ができたので外に出るように生活態度を改めたいと思っています。



### 会員 No44 上杉幸江 環境整備部会

- ① 広島市南区 AB型
- ② 広島市
- ③ 誘われたのをきっかけに、普段体を動かしていないので、運動を兼ねて。
- ④ していません。
- ⑤ 特にありません。
- ⑥ 九重 北大船山(1706m)



- ⑦ 渋沢栄一がいなければ、今の日本はないと言っても過言ではないくらい、本当に凄い人だったんだなと思いました。
- ⑧ 特にありません。
- ⑨ ケセラセラ
- ⑩ 特に特技もなく、花や木の名前を覚えるのも苦手ですが、自然の中を散歩するのは大好きです。

### 会員 No46 種本裕子 環境整備部会

- ① 廿日市市陽光台、B型
- ② 広島市
- ③ 定年後に何か社会に貢献できることはないかと思っていたところ宮島PVを知りました。定年まで待つ必要もないかと思い今回応募させていただきました。
- ④ なし
- ⑤ 読書、特技はありません
- ⑥ 毛無山
- ⑦ 水泳の池江璃花子選手日本選手権4冠達成！
- ⑧ 特になし
- ⑨ 『楽しまずしてなんの人生ぞや』



### 会員 No47 長村澄子 環境整備部会

- ① 広島市南区宇品神田 AB型
- ② 山口県岩国市
- ③ 宮島の海岸を掃除するのは、自分の考えに合っているし、まだ体が動きそうだし、楽しそうと思ったから
- ④ 3月まで、広島港観光案内所で活動していた。
- ⑤ 針仕事
- ⑥ 九重山
- ⑦ 「がんぜき」で落ち葉を掃くことが、自分にとって楽しいことなんだと分かったこと。
- ⑧ 広島駅のトイレは、喫煙室の前を通らないと行けないこと
- ⑨ 寝るが極楽



体力がなく、ぼちぼち動きます。温かい目で見て頂けると嬉しいです。

### 会員 No48 福岡宏隆 観察部会

- ① 広島市安芸区中野
- ② 広島市
- ③ これまでに、厳島神社や大聖院などに、参拝してきましたが何かこれまでのお札として、環境美化に、お役に立てることがあればと思いました。宮島PVの方々が新規会員を迎えることに、心から歓迎されることや新規会員同士で、仲間ができうなので心が動きました。
- ④ 特になし
- ⑤ 野鳥観察
- ⑥ 弥山
- ⑦ 野鳥図鑑に、掲載されている野鳥が目の前にいたとき。オオアカゲラのドランミングが聞こえたとき。
- ⑧ 特になし
- ⑨ 一喜一憂
- ⑩ 廃校となった母校、忠海西小学校の向かい側に、国立公園大久野島があります。子供のころから大久野島の向かいの黒滝山はよく登りました。



### 会員 No49 村上慎二 環境整備部会

- ① 廿日市市阿品（ナタリー） A型
- ② 広島県福山市  
山口県岩国市
- ③ 社会貢献（および予定のない休日の昼飲み防止）
- ④ しておりません
- ⑤ 登山（毎夏北アルプス）、読書（ほぼ図書館）
- ⑥ 富士山（2年前吉原駅から登りました）
- ⑦ 劇場版「鬼滅の刃」無限列車編
- ⑧ 新型コロナウイルス（飲み会が無い）
- ⑨ ほどほど
- ⑩ 照葉樹ハンドブック、樹皮ハンドブック、紅葉ハンドブック、野鳥手帳を購入しました。



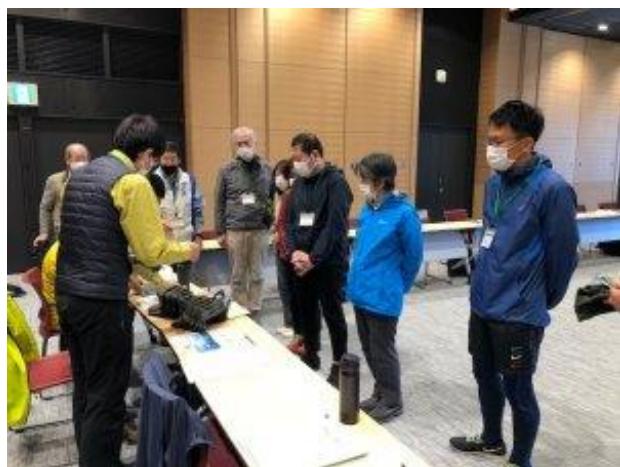
## 会員 No50 森脇正紀 広報部会

- ① 廿日市市阿品 A型
- ② 廿日市市阿品台
- ③ 生き生きと活動されてい  
る末原会長の背中を見  
て！！
- ④ 特になし。過去に災害ボ  
ランティア活動（東日本  
大震災、西日本豪雨など）
- ⑤ けん玉、トライアスロン
- ⑥ 弥山 535m
- ⑦ プロゴルフ松山選手のマスターズ制覇
- ⑧ 体力の衰え
- ⑨ 一日一生
- ⑩ 将来的には宮島に関わっていきたい。  
少しづつ勉強させてください。皆さん、  
健康第一で頑張りましょう！！



## 会員 No51 吉賀忠雄 環境整備部会

- ① 廿日市市 O型
- ② 宮島 廿日市
- ③ 故郷への貢献
- ④ 特にありません
- ⑤ 読書、スポーツ鑑賞
- ⑥ 弥山
- ⑦ ゴルフ松山選手の優勝、水泳池江選手の復  
活
- ⑧ 特にありません
- ⑨ 繼続は力なり
- ⑩ 宮島に少しでも貢献したいと思います。  
よろしくお願ひいたします。



環境省より新入会員へ会員証など授与

## 新幹事でスタート

( 2020.12 臨時総会後 2年間 )



--幹事の皆さん 集合写真--

後列：森、麻生、北野、穂井田、山本(昌)、

中道、村上

前列：河野、舛田、末原、小林(勲)、岩崎

## 新幹事より一言：穂井田会員 観察部会

新たに幹事になりました。

観察部会で野鳥観察を主に活動してきましたが、これまで以上に活動に積極的に参加し、企画に参画して行きたい

と思います。

コロナ禍ではありますが、負けずに皆さんと一緒に会を盛り上げたいと気分を新たにしています。

よろしくお願ひします。



# コバンモチ樹木ネット 保全確認作業

日時：3月6日（土）9:00～12:30

天候：晴れ

行事推進委員：今田 兎谷

参加者：今田 岩崎 河野 末原 元広 森 横路  
山本(昌) 以上8名

広島大学参加者：坪田准教授 内田様  
学生3名

室浜の広島大学植物実験所より西側の内侍岩から大江東付近に自生しているコバンモチの樹木を鹿の食害から保護するために取り付けた樹木ネットの保全確認作業及び生育状況確認(約90本)を実施致しました。

当日の天気は、週間天気予報では、雨でありましたが、曇りまで回復となりました。

当日は桟橋前に午前9時に集合。分乗し広島大学植物実験所へ向かいました。途中、車窓から満開の馬酔木が見られ、春を感じながら到着。

作業場所は、広島大学植物実験所から山道を歩き30分程度の所です。

作業場所に着くと、広島大学坪田准教授よりこの保全作業の事始まりについての説明とコバンモチについての解説がありました。コバンモチの名前の由来は、葉がモチノキに似ていて、形が小判を思わせることからだそうです。コバンモチは、もともと南方系の樹木で、宮島は北限に当たるそうです。近年、鹿の嗜好が変わったのか、貴重な樹木であるコバンモチを食べ始めたこと。この鹿の食害から保護する為、平成15年の豊原先生の時から樹木ネットの設置が始まったとのことです。

学生さん達の協力もあり、作業チームを3班に分かれ作業開始となりました。

前回育成状況確認より2年が経過し、以前あったところに既に枯れ果てたもの、順調に育成しているもの、全く変わらないもの等様々ありました。

作業場所は、山斜面であり足元が非常に厳しく足を滑らしながらの作業となりましたが、12時30分頃に皆さん怪我なく無事作業終了となりました。

短時間で作業を終わらせる会員皆様の段取りの良さと体力には、本当に驚くばかりでした。



桟橋集合



広島大学植物実験所



山道を越えて現地に向かう



作業前ミーティング



保全作業②



保全作業①



保全作業③



保全作業 (樹木番号 : 555)



コバンモチの葉



集合写真



江之浦の山桜

( 文: 今田 写真: 河野 )

## 宮島学園 卒業記念植樹作業協力

日 時: 3月11日(木) 8:20~14:00

天 候: 快晴

参加者: 大林 河野 佐藤 末原 増田 元広  
森 以上7名

宮島学園卒業記念植樹は、広島森林管理署体験植樹事業の一環として、宮島学園卒業生(9年生)に、宮島ロープウェー獅子岩駅周辺の植生を復元させるための植樹です。

広島大学宮島自然植物実験所坪田准教授のご指導により、7年生の時に種を蒔き、育てた苗木を卒業生が植樹するもので、本年は20本を植樹しました。

参加者は、宮島学園卒業生(9年生)8名、宮島学園校長先生など先生5名、広島森

林管理署職員、広島大学宮島自然植物実験所坪田准教授、職員、学生、当会員7名、他のボランティア団体含めて約50名でした。

8時20分に宮島桟橋に集合し、宮島学園に移動し、8時40分の開会式を行いました。その後、宮島ロープウェー紅葉谷駅に移動し、ロープウェーで苗木や物資を運搬し10時10分ごろ獅子岩駅に到着しました。

その後、植樹手順の説明があり、3班に分かれ植樹作業を開始しました。まず、坪田准教授が植樹位置、その場所に適した苗の種類を指定し、廿日市市生涯学習課職員が文化財保護法許可範囲の植生穴(直径30cm、深さ30cm)を確認後、腐葉土を混ぜ30~50cmの苗木を植えて、鹿除け防護柵を設置し、最後に水をたっぷり与えました。

植樹作業は主に生徒が行い、当会員や他の参加者は宮島ロープウェーでの苗木や物資の運搬、植樹時の補助、手伝いや防護柵の設置、補修を行いました。

作業は約2時間を要し、12時30分に終了しました。その後、各自昼食をとり、13時10分からの獅子岩駅前での閉会式で、生徒代表から謝辞があり、解散しました。その後、ロープウェーで下山し、桟橋に14時ごろ到着しました。

前年は雪交じりの寒い日でしたが、今年は暖かな快晴で絶好の植樹日和でした。

なお、今回植樹した苗の種類は、アラカシ、アカガシ、ツクバネガシ、ウラジロガシ、ヤブニッケイ、ヒメユズリハ、ウリハダカエデの7種でした。

なお、昨年までに植樹した樹木数本がイノシシによる掘り返しなどで枯れており、今後定期的に保全作業を行う必要があると感じました。



開会式(宮島学園にて)



苗木の運搬（紅葉谷駅）



植樹状況①



植樹手順の説明（獅子岩駅）



植樹状況②



植樹する苗木（20鉢）



植樹状況③



鹿除け防護柵の補修

集合写真  
( 文、写真：河野 集合写真:広大 内田様 )

# 鷹ノ巣高砲台跡地

## 清掃・整備作業

日 時：3月 13日(土) 9:00～12:30

場 所：鷹ノ巣高砲台跡地

天候：曇り一時晴れ（通り雨もあり）

行事推進員：山本(加)、森

参加者：岩崎 大西 北野 河野 小林（勅）

小林（み） 末原 村上 森

以上9名

新規研修会員：種本 長村 村上 森脇 吉賀

以上5名

曇り空で肌寒い風が吹く中、桟橋に集合したのは会員9名と研修会員5名の合計14名でした。昨年は午前6時の降雨確率が実施の可否判断の難しいものとなり、参加者は4名でしたが、それまでのここ数年の会員の参加者は15～21名で、コロナのせいか、今回は少なめとなりました。

桟橋からタクシーに分乗して、鷹ノ巣高砲台分岐まで行き、ミーティング後に事前に運び込まれていた道具を持って高砲台跡まで倒木等を片付けながら歩いて行きました。研修会員は末原会長の案内で砲台跡全体を見学して回り、その後、清掃・整備作業に加わりました。



鷹ノ巣高砲台分岐でのミーティング

前日の雨で、階段等に溜まった落ち葉や土は水を含んで重たく、一年間の堆積物の清

掃・整備はしんどいものとなりました。シダもそうとう繁って道を覆っていましたが、末原会長が草刈り機で刈り取り、道幅が広がって足元の地面が良く見えるようになりました。



清掃・整備作業実施状況①



清掃・整備作業実施状況②



清掃・整備作業実施状況③



作業前後の状況① 前



作業前後の状況① 後



作業前後の状況② 前



作業前後の状況② 後

昼食前に村上顧問から、ここの大砲は実践で使われたことがなく、人の血が流れていないことや、大砲が日露戦争の時に大陸に運ばれて 203 高地攻防戦のために使われたとの話があることなどが紹介されました。昼食は、これまで景の良い山頂の観測所で取っていましたが、冷たい風が吹いていたので、砲台跡で取りました。

昼食後、現地解散し、研修会員全員と会員3人は山道を包ヶ浦まで下り、ほかの会員は道具を持って鷹ノ巣砲台分岐まで戻りました。

参加された皆様、風の吹く肌寒い中での作業、お疲れさまでした。コロナが収束した後に、多くの方がこの史跡を訪れるごとを願っております。

【追加：往路のタクシーの運転手さんの話】「鷹ノ巣砲台跡へ連れて行ってくれ」というお客様がたまにいて案内するそうですが、その際「ここは宮島地区パークボランティアの方が清掃・整備されている」と話してくれているとのことです。



作業後の集合写真

( 文：森      写真：末原・河野 )

# 自主観察会(1)、 小なきり海岸清掃

日時：4月 10日（土）13：30～14：30

天候：快晴

参加者：麻生 今田 岩崎 大西 小川 恩田

金山 北野 五石 河野 小林(勗) 小林(み)

佐渡 佐藤 島 山本(加) 末原 中道 穂井

田 増田 弁田 松尾 松田 村上(光) 元広

森 山本(昌) 横路 上杉(裕) 上杉(幸)

種本 長村 福岡 村上(慎) 森脇 吉賀

以上 36名

環境省：山崎自然保護官 永瀬自然保護官

大高下 AR



流木もみんなで移動



大きな発泡スチロール



きれいになりました



開始前の点呼



清掃開始



清掃後の集合写真

## ◇小なきり海岸の植物・生物調査

## 【こなきり植物マップ】

私自身は何年振りかの小なきりの植物調査です。以前に比べると山道が非常に荒れているようだ。倒木もあちらこちらにあり非常に歩きにくい。

でも、樹木等はよく成長していました。海

岸ではハマゴウが非常に繁殖している。水辺ではハンゲショウが葉を出し始めている。開花時期の7月が楽しみだ。

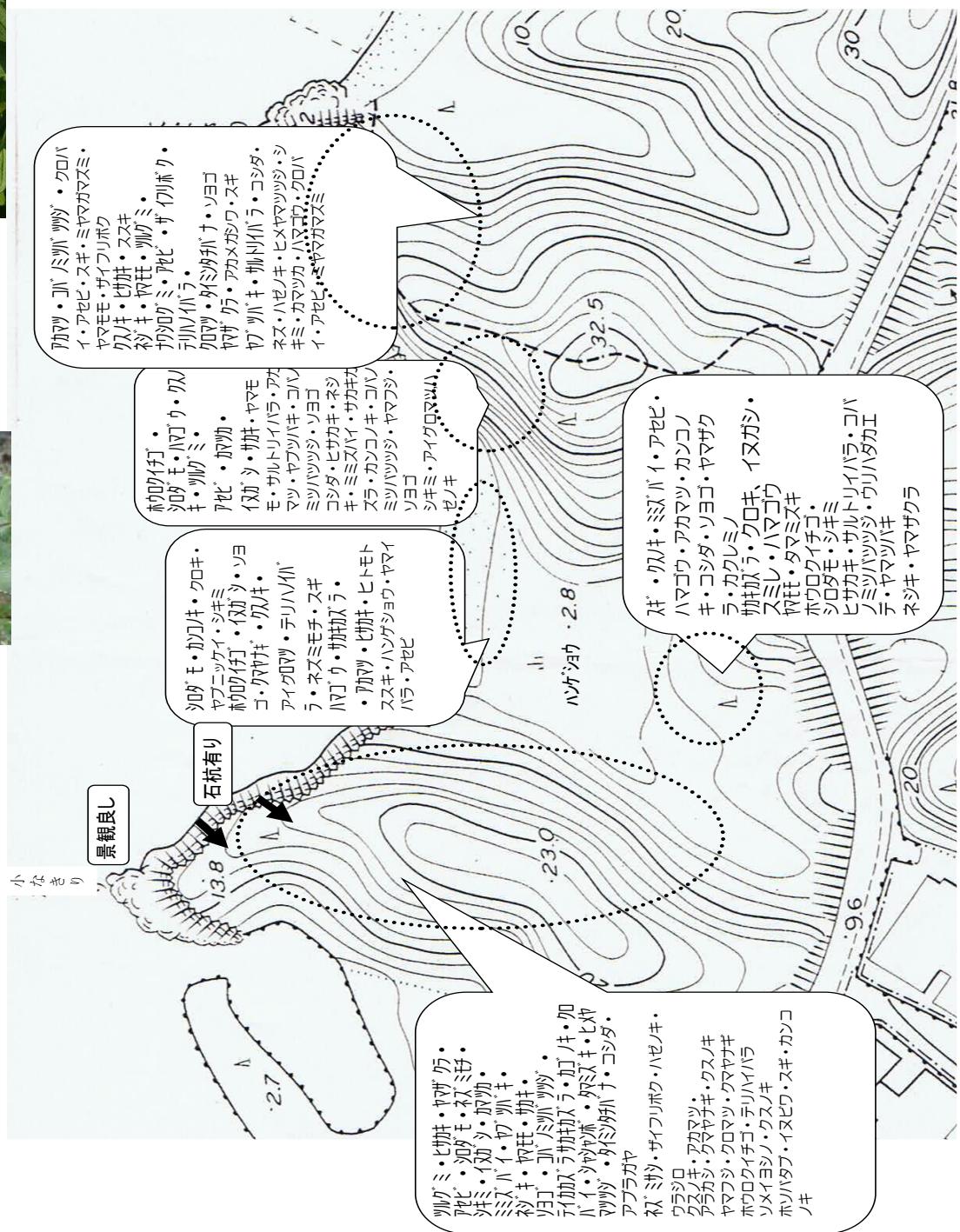
この時期はザイフリボク、ミヤマガマズミ、クロバイの花も見られて調査に一瞬の安らぎを与えてくれた。

( 文、マップ図： 小林 勇 )



# 植物の生活の小物

令和3年4月10日



## \*\*\*\*\*投稿記事\*\*\*\*\*

### ①マダニ体験記 山本昌生

初めてマダニの被害を受けましたので、ご報告します。

異変に気付いたのは、今年の3月9日。お腹がむずがゆいので、お風呂で見るとおへそのやや左側に褐色の小さな突起があった。バラの剪定作業をしていたので、バラのトゲで傷ついてできた「かさぶた」かなと思った。取ろうと引っ張っても取れないので、無理に取ると血が再び出るので固まるまでほっておこうと思った。翌日、再度お風呂で見るとその場所がイボのように膨らんでいた。大きさは4mm程度。取ろうと引っ張ってもびくともしない。てっきり、急にイボができるのかなと思ったが、斜め上から見るのでよく見えない。急にマダニではないかという不安な気持ちが出て、正面からデジカメで撮影して拡大してみた。すると、なんと足が見えるではないか（写真）。慌ててネットで検索してみると、やはりマダニだと確信した。無理に引っ張ると頭が取れて、ダニの体液が体に入り込み重症化するようなことが書いてあったので怖くなり、あきらめて翌日皮膚科に行くことにした。しかし、寝ている間にマダニが移動して別の場所に行くのではないかという不安があったため、ティッシュを小さく畳んでダニにかぶせて、ガムテープを張り閉じ込めた状態で寝た。翌朝、廿日市市地御前にある皮膚科に行き、診察を受けた。すぐに

「これはタカサゴキララマダニですね」と言われた。ときどき患者は来るそうで、手慣れた感じで液体窒素をダニに付けて凍結させて体液を固め、ピンセットで無理やり取り除いてくれた。傷口には軟膏を塗って、ガーゼで押さえて終わりだった。抗生物質のミノサイクリン塩酸塩錠100mg「サワイ」を一日2回、朝夕食後に服用するようにと、一週間分もらった。「もし家に帰り、ダニのアレルギーで、発疹が出るようなら来てほしい。2週間ほど熱が出なければ大丈夫だが、熱が出る

ようだと生死にかかわるのですぐに来院するように」と言われたが、その後熱が出ることもなく経過した。しかし、傷口は4月中旬の時点では、赤くなり硬化したままで完全に治っていない。

今回、どこでマダニに吸着されたのだろうと考えると、3月6日のコバンモチの樹木ネット保全確認作業で山の中に入ったことが原因ではないかと考えています。マダニを見つけるまでの3日間は食いつかれたままで気づきませんでした。これが背中やお尻だと見つけることもできず、もっと長く吸わっていたかもしれません。怖いですね。2019年7月6日の環境省研修会でマダニに関する研修を受けたのに他人事だと思い、十分対策をすることができず反省しています。皆さんも気をつけましょう！

#### 【写真】

私の皮膚に食いついたタカサゴキララマダニ

（頭を下にして頭部は皮膚に潜り込み、左右に足が確認できる）



### ②弥山・駒ヶ林清掃なし登山

【個人で実施した行事の記録】森 弘

日 時：4月24日(土) 9:00～14:00

場 所：博奕尾～弥山～駒ヶ林～大元公園

天 候：晴れ

桟橋広場から要害山への急階段を上り終えた辺りから大きな藤の木の白い花が見られると思っていたのですが、この日はまだ緑の蕾でした。



白い藤の花： 2020.5.14 撮影

要害山からうぐいす歩道に出て坂を上がり、杉之浦への旧陸軍道路に入つて石畳の終わる辺りから山道に入りました。ここから博奕尾までは、道際に馬酔木が多くありますが、花はすでに終わつていて、代わつて、新緑のウリハダカエデの葉と蕾、ピンクのツツジの花をあちらこちらに見ることができました。



新緑のウリハダカエデ

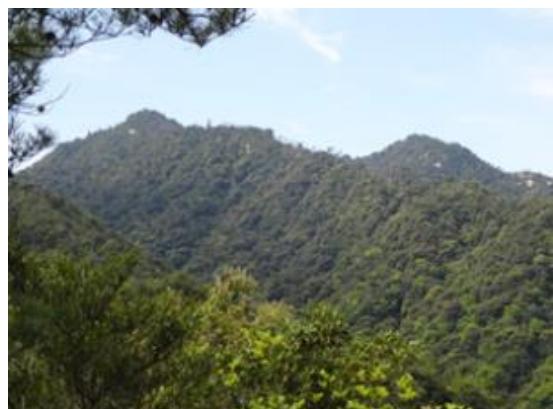


満開のツツジ

ウグイスなどの鳥の声を聞き、新緑を楽しみながら歩みを進め、博奕尾から少し登つたベンチのある広場で水分補給の一休み。ここから厳島神社やこれから登る弥山・駒ヶ林が良く見えました。



広場からの大鳥居と厳島神社



これから登る 弥山（左）と駒ヶ林（右）

大砂利との分岐の大はげから少し急な坂を登つていくと包ヶ浦や広島湾の向こうの山々が見えてきました。登りきると、ここから樅谷駅までの間ではクロバイの満開の花があちらこちらに見られ、幸運な山歩きとなりました。途中、包山とその先の鷹ノ巣の山並みが海に映えて見える場所で少し足を止めた。



包ヶ浦



包山（右）と鷹ノ巣の山並み（その奥）



満開のクロバイの木



クロバイの花

樅谷駅から獅子岩駅の中間に本州側と四国側の両方が見られる絶好ポイントがありますが、この日は、霞んでいて周防大島の山もほとんど見えない状態でした。

獅子岩駅を経て紅葉谷ルートとの合流点の少し先から旧参道に入り、弥山本堂に到着。本堂前の広場は、そこそこの数の人がいましたので、錫杖の梅の新緑を見て、すぐに山頂に向かいました。

山頂も多くの人で密状態だったので、駒ヶ林で長い休憩を取ることにしようと、展望台に行かずに駒ヶ林に向かいました。大聖院ルートの分岐への途中で 10 数人の若者のグループに抜かれ、駒ヶ林分岐の手前で、また 20 人程度の若者のグループに抜かれました。

駒ヶ林に着くと少人数のいくつかのグループと先ほど抜かれた 20 人程度のグループがいて込み合っているさなか、さらに 10 数人の若者のグループが到着し、ここも過密状態に。長い休憩を諦め、5 分ほど休んで大元公園ルートで下山することにしました。（この日は、高校生の何かの大会があったようです。）

大元ルートは、巨岩とこれに根を絡み付けた木が自然のすごさや生命力のすごさを感じさせ、大好きなコースですが、登りの階段はきついのでもっぱら下りで利用しています。



巨岩とこれに根を絡み付けた木①



巨岩とこれに根を絡み付けた木②



巨岩の上から長く伸びる根

十六町辺りの風穴で冷風にあたって疲れを癒し、しばらく下山するとカエルの声が聞こえてきて、春の終わり～夏の始まりを感じさせられました。大元公園からの帰りでは、浜で潮干狩りをしている人がパラパラといて、また、桟橋広場では翌日にウォークラリーでもあるのか、テントが設営されていて 5km コース、10km コースと書いた札が張られていきました。皆さん新緑の季節を楽しまれています。

桟橋の二階の休憩所で缶ビールを飲みながら爽やかな山歩きを締めくくって、帰途につきました。

今年は、雨で弥山・駒ヶ林清掃登山の行事が中止になりましたが、来年度は3年越しで企画されると思いますので、その際はこの山歩きを楽しんでください。

( 文 : 森      写真 : 森 )

◇ 編集後記 ◇

コロナ禍、2年ぶりの定期総会は新人さんを迎えて、新築の宮島まちづくり交流センターで実施できたのでよかったです。広報部会にも1名が加入していただき嬉しい。次の85号編集は東京オリンピックの最中。楽しみです。

( 麻生 )

瀬戸内海国立公園

宮島地区パークボランティアの会

事務局：環境省 中国四国地方  
環境事務所 広島事務所

(〒730-0012)

広島市中区上八丁堀6番30号

広島合同庁舎3号館1階

TEL082-223-7450、FAX082-211-0455